

1-3. 景観形成基準に基づく配慮の一例

配慮の一例

【形態意匠：屋根】
周辺の地形との調和に
配慮した勾配屋根

【形態意匠：外壁】
圧迫感や違和感を生じないように配慮し、仕様を
適度に分けた壁面や開口部等の意匠の工夫



【形態意匠：色彩】
数値基準内で、周辺の景観と調和
した落ち着いた色彩

【規模・配置：壁面】
道路からできる限り後退
した壁面の位置

【外構】
圧迫感を抑え、周辺の景観と調和
する色彩を用いた敷地周囲の柵

【敷地の緑化】
行為地内の出来る限り
多くの部分を緑化



【形態意匠】
色彩、素材や屋根形状を隣接する建物
と合わせ、周辺との調和に配慮



【附属建築物】
主体となる建築物と同様の色彩とするなど、
一体感のあるものとなるよう工夫



【附属設備】
屋上の付属設備等をルーバーで
覆い、目立たないように修景